

矢板駅前イルミネーションに新しい仲間が!

高校生未来の職業人育成事業 矢板高校電子技術研究部

毎年十一月末から翌年一月中旬まで、JR矢板駅前にイルミネーションが飾り付けられ、冬の風物詩として多くの人に喜ばれています。

今年も、新しく矢板高校電子技術研究部が県の「高校生未来の職業人育成事業」を活用し、自分たちが作ったイルミネーションを矢板駅前のビルに設置し、今まで以上に地域の方たちに楽しんでもらおうと参加しました。

●高校生未来の職業人育成事業とは

高校生の職業意識を高めるため、地元企業（栃木県産業教育振興会会員）の技術指導を受けながら、高校生が主体的に企画・立案による実践的な活動を実施し、中学生や地域住民と共に地域貢献を行うことを目的としています。必要費用は県から補助されます。

●事業内容は

電子技術研究部では、



二年前からディスプレイの製作・設置を行い、イルミネーションの期間中にJR矢板駅前、矢板市内の名所等を紹介していただきました。そのためイルミネーションにはなじみがあったので、この育成事業でもイルミネーションを製作することがすぐに決まりました。当初は、矢板市キャラクター「ともなりくん」を考えましたが、大きさや構造の点で難しかったため、再度話し合いを行い、冬の時期に最もイメージできる「雪の結晶」を製作することにしました。

●活動内容は

【一回目】

部員七人がどんなモチーフにするかを顧問の山根宏信先生と地元企業の大進電気工事(株)の菅野健二社長から具体的な製作内容、方法等のアドバイスをいただきましたながら「雪の結晶」五種類のデザインを決めました。

【二回目】

中学生に参加してもらうため、高校側から矢板中学校の校長先生に趣旨を説明し、希望者を募っていたいただき、興味を持った生徒十一人に参加してもらいました。中学生と二年生部員六人が四班に分かれ、それぞれのパターン製作に入りました。

細かな部分は、菅野社長から技術指導を受け、二時間の活動を開始。高校生が作業をリードし、時間内には二種類のイルミネーションが完成しました。二回目の活動時に時間内で完成できなかった部分は普段の部活動の

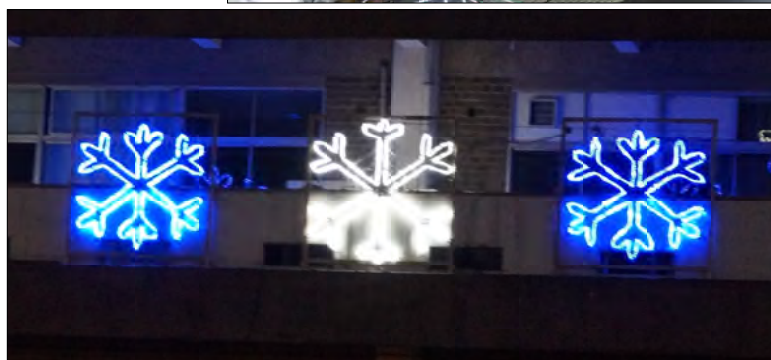


中で仕上げました。

【三回目】

最後の活動は、出来上がった五種類の雪の結晶のイルミネーション取り付け作業です。

五種類の雪の結晶は、それぞれが約10kgの重量があるので、落下しないよう注意しながら、駅前ビルの三階に大進電気工事(株)の方に協力いただき取り付けを完了しました。点灯した雪の結晶の出来栄はどうかご期待ください。(T・M)



今年の矢板駅前イルミネーション点灯期間は、十一月三十日(金)～平成三十一年一月十三日(日)までです。市民の皆さん、中学生・高校生も参加して作ったイルミネーションをぜひ見に来てください。